



竜大通信

2019 年新春
(12月定例会)号
1月20日(日)
(通算44号)

12月定例会一般質問

市内北東部地域の道路交通課題

こんにちは、市議会議員かつまた竜大です。昨年12月13日に市川市議会12月定例会は閉会しました。今回は12月12日に以下の3点に関して一般質問を行いました。

(1) 市川市空家等対策計画について (2) 分譲マンションの諸問題について (3) 柏井少年広場及びいちかわ市民キャンプ場周辺の狭隘道路問題について 以上です。

特に(3)の狭隘道路問題については、市川市北部地域の道路交通に関する様々な問題を今後の重要課題として捉えていますので質問と答弁内容を報告します。

市内の狭隘道路問題 市民陳情より未解決箇所について質問

質問及び答弁の要旨は以下の内容です。
少年広場及びキャンプ場を利用する市民への周知及びルール化について

【かつまた竜大質問】
柏井少年広場から、いちかわ市民キャンプ場へつながる道は非常に

狭く車が相互通行できない状態であり、車同士がすれ違う場もないため通行に支障をきたしている。特に土日祝日には少年野球やキャンプ場の利用者が相当数の通行がある。それぞれの利用実態、利用者への交通ルール周知について伺う。

【文化スポーツ部長答弁】

・柏井少年広場は少年野球場が6面あり、毎週土日及び祝日の午前8時から午後5時の間、柏井リーグに所属している少年野球35チームが大会や練習で利用している。市民キャンプ場は年間約3,500人の利用者があり、夏休みや土日祝日の利用が大半を占める。両方合わせると多い

時で車は100台以上駐車している。
・立地的に利用者は車でのも来場が多



く、周辺道路の道幅が狭いため車1台分しか通行できない道が続いていて、特に朝夕の入退場時には利用者と地元地権者の出入りが重なり混雑している時間があると認識している。

・このため利用者に対しましては少年広場と市民キャンプ場北側の市道0236号線柏井四丁目バス停付近を入口として、出口を南側の市道3306号線柏井保育園方面として、一方通行の協力をお願いしているところですが。今後は利用者に対しましてホームページでの周知や施設予約時に説明するなど、さらなる通行ルールへのご協力をお願いしてまいります。

狹隘道路の拡幅工事について

【かつまた竜大質問】

柏井少年広場及びいちかわ市民キャンプ場周辺の狹隘道路について拡幅工事を行い歩行者や通行車両の安全対策が出来ないかを伺う。

【道路交通部長 答弁】

・具体的に言うと、いちかわ市民キャンプ場入口から南側へ約500メートル区間については幅員が4メートルに満たない狹隘な道路となっている。一方で柏井町2丁目周辺の山林については約3.9haの緑地保全を行っており、このうち6,700平方メートルについてはいちかわ里山倶楽部などのボランティア団体の協力を得て緑地の保全に努めている。よって、現在の利用状況を踏まえて施設及び土地の管理を行っている関係部署と道路環境の向上を目的とした整備について、今後は協議・調整していく。

【かつまた竜大まとめ】

外環道路が開通して市内の道路混雑がかなり解消されたと報道されていますが、狹隘道路問題に関してはまだまだようです。緑地保全は大切なことなので木を伐採してまで道路の拡幅を行えとは言いませんが、道路の途中にすれ違いが可能なスペースを作って対応して頂くことを要望します。今回取り上げた狹隘道路の近くには柏井保育園があります。その前の道路は以前、「柏井小学校へ向かう通学路なのに朝は車の通行量が多く危険なのでガードレール付きの歩道を設けて欲しい」という市民陳情がありました。結局はガードレール設置をしないで「ゾーン30」の指定にしたという経過があります。道路

が狭いことは歩行者にとっても危険です。木を伐採しない道路拡幅を要望します。

市川市北部全体の道路交通に関する諸問題について

今回は狹隘道路問題について質問をしました。が、市川市北部には狹隘道路だけでなく、私道や位置指定道路、境界の諸問題があります。同じ市川市に住みながら他の地域との差を感じている市民がたくさんいます。市内における格差問題と言っても良いと思います。今後こういった諸問題に関して市民の皆さんの声を聞きながら議会で取り上げて問題解決に努めていきます。また陳情も受け付けますのでかつまた竜大事務所連絡先までご連絡をください。

リハビリテーション病院続報 後継法人が城東桐和会に決定

前号（通算43号）で公募となったと報告をしましたが、民営化する市川市リハビリテーション病院の後継法人が決定しました。因みに公募における譲渡最低価格は土地7億8千万円、建物5億3千万円、総額13億1千万円。また病院の正規職員は105人、臨時・非常勤職員を含めると計156人。後継法人には「希望する全職員の勤務継続」を条件に挙げています。公募には5法人から応募があり、うち1法人は移譲条件を満たしていないとして、4法人を総合的に評価した結果、医療法人社団・城東桐和会（東京都葛飾区）に決定しました。

9月定例会におけるかつまた竜大の代表質問

に対して保健部長が「今後の高齢者の急増を見据えて、地域包括ケア病床や訪問リハビリテーションなど、新たな回復期の機能を加えることも期待」と答弁しています。地域の要望に応えた医療機関となるよう、今後の展開に期待します。

「かつまた竜大の後援会『竜大とぬくもり市政を創るみんなの会』は会員を募集しています。詳しくはかつまた竜大事務所までお問い合わせを」

プロフィール

20年間勤務した理美容・医療機器製造会社タカラベルモント(株)を退職して2007年の市議会議員選挙に初挑戦して当選（現在3期目）、市内で環境NPOの代表をしていたことが市政への関わりでのスタートでした。教育・福祉政策の進んだ北欧諸国に憧れています。
墨田区東向島生まれ
1986年立教大学経済学部卒業

市川市議会議員 かつまた竜大

会派 新しい流れ 代表
総務委員会 副委員長
市川市総合計画審議会 委員
社会民主党千葉県連合 常任幹事（自治体・政策局長）
立教大学校友会 代議員
八幡南口町会 副会長
大和田小学校学校運営協議会 委員
大和田小学校区防災拠点協議会 副会長

〒272-0023
市川市南八幡 4-12-5-906
TEL 047-379-9203
FAX 047-379-9205
携帯電話 070-5019-5058
facebook：勝亦竜大
ツイッター：かつまた竜大（市川市議会議員）
@katsumataryudai
Eメール：ryudai_katsumata@yahoo.co.jp
ホームページ：http://www.ryudai.tv/